

同世代の感性を共有しよう！私たちのオススメ！！

★ SUPPORTER'S SELECTION ★

サポーターのみなさんに、最近読んでオススメしたい本、

以前読んで、今でも心に残っている本などを紹介していただきます。本選びの参考にいただければ幸いです。

★ 名古屋

菅田紗菜さんオススメ

『人形の家』イブセン 著 原千代海 訳
(岩波書店1996 [岩波文庫])

名図文庫、豊図文庫岩波文庫949.62:11

世間知らずな妻ノラは弁護士に可哀がられ、平穏な生活を送っていたが、実はノラには秘密があって…という現代でいう家庭内モラハラ的な要素が入った作品になります。モラハラに興味がない人でも、家庭のサスペンスドラマとして読んでみても面白いですし、そこから夫婦のあり方や自立について考えたりするのも楽しいと思います。戯曲と呼ばれる台本形式で書かれた作品なので、本を読むのが苦手な方にもオススメです。




★ 名古屋

秋田桃子さんオススメ

『もし文豪たちがカッパ焼きそばの作り方を書いたら』
神田桂一・菊池良 著 (宝島社2017)

名図開架913.7:Ka51

みなさんが大好きな「カッパ焼きそば」の作り方を、もし太宰治などの偉大な文豪や、ミュージシャン、はたまた週刊文春が書いたら…。そんな文章が、著者の想定で書かれています。カッパ焼きそばづくりの過程だけに、とっても面白いこの本。知っている文豪たちには「書きそう」と思い、クスリと笑ってしまいます！知らない文豪たちに興味がわいたら、その文豪たちの作品を読んでもるのも楽しいのではないのでしょうか。




★ 名古屋

柴垣汐里さんオススメ

『リアル鬼ごっこ』
山田悠介 著 (幻冬舎2004 [幻冬舎文庫])

名図開架913.6:Y19

ある王様のわがままで、国に500万もの「佐藤姓」人間を抹殺したいと考えていた。そこで、王様は佐藤姓を捕まえる「鬼ごっこ」を行い、捕まった佐藤は殺されてしまうというゲームを行った。もしあなたがこの時代に佐藤姓で生まれたとしたらどうしますか？最後まで諦めませんか？それとも途中で諦めますか？主人公の佐藤翼は最後まで諦めませんでした。人生は諦めないことにより最後までやり遂げることも出来ると思いました。




★ 名古屋

織田彩花さんオススメ

『ねこまのおばと物の怪たち』
香月日輪 著 (KADOKAWA2014 [角川文庫])

名図開架913.6:Ko99

継母に子供ができてから家族との関係がギクシャクしている小学生の少女・舞子が主人公です。学校でもいじめられてる舞子ですが、幽霊が出るというイラズ神社に行くことになり、そこでヒトではないものと出会うこととなります。意外にもヒトではないものの方が舞子のことを救ってくれたりもします。物の怪たちの言葉と考へて大人になった今でもいろいろと考えさせられる内容です。舞子たちの生活を覗いてみませんか？




★ 名古屋

香田麻那さんオススメ

『人間はどこまで耐えられるのか』
F・アッシュクロフト 著 矢野野薫 訳
(河出書房新社2008 [河出文庫]) 名図開架491.3:A92

極限の環境におかれた人間の体の働きを、生理学的に解説した本です。どのくらいの高さまで耐えられるのか？どのくらいの気温まで耐えられるのか？宇宙空間で生きていけるのか？など、数々の実例を交えて語ります。時に己の体で実験してきた生理学者の、また自然の限界に挑み続けた人間たちの、挑戦の歴史でもあります。分かりやすく楽しく読んで、さらにサバイバル知識の本としてもお役立ちです。




★ 名古屋

野尻晴葉さんオススメ

『ちよちよら』
畠中恵 著 (新潮社2013 [新潮文庫])

名図文庫913.6:H41

兄の自刃を受けて、藩の江戸留守居役を引き継いだ開野新之介。幕府と藩の橋渡しに日々奔走する中、最大のピンチが訪れようとしていた。優秀だった兄への引け目から、何かと頼りなく見える主人公です。それでも、失敗してもへこたれず、数々の問題に辛抱強く取り組んでいきます。周りを固める癖の強い登場人物達とのやりとりが面白く、話に引き込まれていきます。馴染みのない江戸留守居役という役職もよく分かる、軽快な時代小説です。




★ 名古屋

角谷有理奈さんオススメ

『図書館危機』
有川浩 著 (メディアワークス2007)

名図開架913.6:A71、豊図開架913.6:A71:3

本を自由に読めないという現実ではありえないと思える世界の中で物語は進んでいきます。しかし、そんな世界の中でも主人公の笠原都は様々なことに全力で尽くしていきます。大切な人や大切な物の為に頑張る主人公に共感することで自分自身についても考えられるきっかけになるような一冊になると思います。本好きの方はもちろんですが、あまり読書をしていないという方も読みやすい本だと思うのでぜひ一度読んでみてもらえたら嬉しいです。




★ 名古屋

井下茜さんオススメ

『孤独な夜のココア』
田辺聖子 著 (新潮社2010 [新潮文庫])

名図文庫913.6:Ta83

この現代を生きてきて、ある人と巡り会っただけで幸せだった。同じ時間を過ごすだけでいい。あなたはそんな人と巡り合ったことはありませんか？きっとそんな幸せもあるのでしょう。孤独な現代人の恋愛観も良いが、隣にいてくれるだけで幸せというのなかなか乙なものだと思います。この本の題名は孤独な夜のココアですが、きっとあなたの心を癒してくれる一冊となるでしょう。田辺聖子の恋愛観が詰まった12篇の作品集です。




★ 名古屋

吉田真夕さんオススメ

『三匹のおっさん』
有川浩 著 (新潮社2014 [新潮文庫])

名図文庫913.6:A71

かつての悪ガキ3人組であるキヨ・シゲ・ノリが還暦を迎え、「三匹のおっさん」として私設自警団を結成し、町内の平和を守るために活動するお話です。テレビドラマ化もされ話題となり、シリーズ化されました。シジイ扱いされることを嫌うおっさん達の面白く奥の深い、はまってしまふこと間違いなし、是非一度手に取り読んでみてください。




★ 名古屋

稲垣澄香さんオススメ

『すべてがFになる』
森博嗣 著 (講談社1998 [講談社文庫])

名図開架913.6:Mo45

国立N大学建築学部の助教授である犀川創平とその教え子で恩師の娘でもある西之園萌絵の二人が、犀川研究室の旅行である、愛知県にある紀真加島で起こる殺人事件を解明していく話です。殺人現場は室内であり、その入り口が動画で記録されているが、誰かが出入りした形跡は無く、完全なる密室の中で起こる殺人事件に2人が挑みます。元々4部作になる予定だったが、分量が多くなってしまったので、その分読み応えのある作品になっているので、是非読んでみてください。




★ 名古屋

kahoさんオススメ

『醤油鯛』
沢田佳久 著 (アストラ2012)

豊図開架578.47:Sa93

「醤油鯛」、皆さんご存知ですか。スーパーでお寿司のパックを買ったときについている、醤油の入っている魚のプラスチック製容器のことです。この本では全国各地の醤油鯛を分析しており、「これ見たことあるなあ」と思い出したり「こんな形もあるんだ」と驚きを得ることが出来ます。一人で読んでいても、誰かと一緒に醤油鯛について話したくなります。是非、推し醤油鯛を探してみてください。




★ 名古屋

小林玲菜さんオススメ

『燃えよ剣』
司馬遼太郎 著 (新潮社2007 [新潮文庫])

名図文庫 (上巻) 913.6:Sh15:1 (下巻) 913.6:Sh15:2

坂の上の雲や、竜馬がゆくでお馴染みの司馬遼太郎さんが書かれた土方歳三が主人公のお話です。多摩時代のお話や新選組結成後、鬼の副長と呼ばれた時代、そして函館五稜郭の戦いまで土方歳三の生涯が書かれた小説です。歴史小説ですが読みやすく、ただのバラガキだった土方がどのようにして鬼の副長になり五稜郭で散っていったのが新選組好きに限らず楽しく読める小説だと思えます。歴史好きな人も、そうでない人も是非一度手に取って読んでみてください。




★ 名古屋

佐藤優さんオススメ

『かがみの孤城』
辻村深月 著 (ポプラ社2017)

名図開架、豊図開架913.6:Ts44

主人公のころはいじめを受けて不登校になります。ある日、自宅にある鏡が光出し、彼女は不思議な世界へ誘われます。そこには自分と同じ境遇の7人がいました。どうしてこの7人が集められたのか？それが明らかになった時、感動の波が押し寄せられます。辻村深月の作品の中でも最高傑作と呼べるような作品です。ぜひ読んでみてください！




★ 名古屋

鈴木菜々さんオススメ

『黒い家』
貴志祐介 著 (角川書店1998 [角川ホラー文庫])

名図開架913.6:Ki56

保険会社に勤める主人公の男性が、あるクレームの電話をきっかけに、最悪の事件に巻き込まれるホラー小説。クレームをつけてきた夫婦がとにかく不気味で怖いので、読めば主人公と一緒に震え上がること間違いなしです。前半は危険に足を踏み入れる不安、後半は危ない人間に追い詰められる恐怖とスリル。最初から最後までハラハラドキドキしながら楽しめます。人間の怖ろしいところが好きな人、保険会社に興味がある人には特にオススメです！




★ 豊橋

宮崎香那さんオススメ

『ラン』
森絵都 著 (理論社2008.6)

豊図開架913.6:Mo45

目的を持ち何かをやりとげたことはありますか？環は事故で家族を亡くし孤独に生きていた。そんな時自転車の店の店主から「モナミ1号」という異界へ行けるロードバイクをもらう。環は家族に会うため、40キロの距離がある異界とこの世の境目を越えるためにジョギングを始める。ある日、環はランニングメンバーに誘われメンバーとともにフルマラソンを目指すことに…。果たして環は境目を越え、フルマラソンを達成することができるのか。




★ 豊橋

斧田汐香さんオススメ

『陽気なギャングが地球を回す』長編サスペンス書下し
伊坂幸太郎 著 (祥伝社2003)

豊図開架913.6:168

市役所で働く成瀬、喫茶店主の響野、二十歳の青年久遠、シングルマザーの雪子たちの正体は銀行強盗。ある時、横浜の銀行を襲撃した彼らはまんまと四千万円をせしめたものの、逃走中に他の車と接触事故を起こしてしまう。しかもその車には、同じ日に現金輸送車を襲撃した別の強盗団が乗っていた。嘘を見抜く名人、天才スリ、演説の達人、精確な体内時計をもつ…。この四人が繰り広げる映画化で話題のハイテンポな都会派サスペンス。




★ 豊橋

山川佳菜さんオススメ

『図書館ねこデューイ：町を幸せにしたトラねこの物語』
ヴィッキー・マイロン 著 羽田詩津子 訳
(早川書房2008) 豊図第2書庫645.6:My

人々を愛し、人々に愛されたデューイ・リードモア・ブックスという猫を知っていますか？彼はアメリカの小さな町の図書館の「図書館ねこ」です。彼は凍えるような冬の朝に図書館の返却ボックスから図書館長のヴィッキーに放し出され、「図書館ねこ」となりました。本書はこのデューイの一生と、ともに歩んだ図書館長ヴィッキーの半生が図書館業務や町の歴史などとも絡められています。デューイとヴィッキーの信頼関係やデューイが「図書館ねこ」として人々に元気を与える姿に心が温まります。




★ 豊橋

太田朱音さんオススメ

『曙光の章』
北方謙三 著 (集英社2000)

豊図開架913.6:Ki65:1

水滸伝は、明代の中国で書かれた伝奇歴史小説の大作です。腐敗した国に対し、集結し立ち上がる英雄たちの物語ですが、その登場人物は、善人ばかりでないのも、三代目首領の宋江に謎も多いたる魅力の1つ。北方さんの水滸伝は、中国の古典をとて読みやすく書かれていますぜひ読んでみてください！




★ 豊橋

大野真知子さんオススメ

『仏果を得ず』
三浦しをん 著 (双葉社2007)

豊図開架913.6:Mi67

笹本銀大夫の弟子としての日々を過ごしていた健は、ある日、変わり者として有名な三味線の唄一郎と組むように銀大夫に言われ、2人は渋谷組むことになる。その後、大夫として悩むことが多く、成長出来ずにいた健は、文楽を教えに行っている小学校の生徒のミラとその母親と出会いこの出会いが大夫としての健を変えていくことになる。文楽を見たことがないという方も、読後は文楽を一度は見てみたいと思わせてくれる一冊です。




★ 豊橋

大原拓弥さんオススメ

『名もなき毒』
宮部みゆき 著 (幻冬舎2006)

豊図開架913.6:Mi71

この物語の主人公は杉村三郎という人がすぎるサラリーマンです。彼の仕事場にアルバイトで原田いづみが出てきます。彼女は今でも多くの場所でトラブルを巻き起こしてきた人ですすぐに解雇されます。しかし、解雇された原田いづみは仕事場に嫌がらせを始めます。そんな彼女との連絡役になった杉村三郎は彼女の経歴詐称やクレーマーぶりに振り回されます。人が持つ毒についてとも考えさせられる作品です。



